

NPO 法人

2014,1,1

虹の会ニュース 第43号

編集発行 特定非営利活動法人「虹の会」
 T E L 04-7179-3133
 F A X 04-7179-3130
 住 所 〒270-1114
 千葉県我孫子市新木野 3-32-15
 宅老所「虹の家」内
 郵便振替口座 00180-0-592018

明けましておめでとうございます

理事長 高井 浩幸



昨年は十周年記念行事をして地域の課題がいろいろみえてきました。
 本年は新たに 11 年目のスタート地点に立って、取り組んでいきたいと思ひます。
 会員の皆様、地域の皆様方のより一層のご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。



虹の家 秋 特集



腹話術の方が訪問



9月28日 お人形の
ホッペをなでる Uさん

新木近隣センター文化祭 11月9日



今年も花笠おどりを披露しました



一年かけて作った作品を展示
しました

この人形の目は
どこのをさわると
動くのかしら？



興味深々の Tさん
若さの秘密は
ここにあり！



10月18日 新木小2年生30名が
「町たんけん」でやってきた！
子どもたちの質問に
笑顔で答えていました

初冬の陽だまりでの散歩



公園でどんぐり拾いに興じる
スタッフ



ご家族から



心の憂さの捨て処。カイゴ、介護たつた三文字、その重さは果てしない。
 虹の家は私の憂さを拾ってケアして返して下さる。そして、その度に私は再生し元気になって今日を生活している。利用者で大変なのに家族まで。何とも申し訳なき事と思ひながら甘えさせていたでいる。感謝。



主人は、アルツハイマーと診断されて5年になります。虹の家のデイサービスへはなかなか行けなく、訪問してくれて、やっと思ひ行くことができ、一年半になります。今はまだ、昼食後の昼寝ができなくて、1時には帰宅です。今後は皆さんと同じに昼寝をして、4時まで居られ、イベント参加も出来るようになれば良いのですが。



虹の会 10周年記念号

その2

理事・ボランティアから

虹の家 10周年、おめでとうございます。
 これも理事長、施設長はじめ職員の皆様の地道な心温まる支援の積み重ねの結果だと思い、心から敬意を表する次第です。これからますます小規模多機能への期待が高まってくることでしょう。そこに虹の家らしさを存分に盛り込み、地域の皆様のために尽力して下さいますことを願っております。

ここ新木が私の終いの^{ゆう}柵(すみか)になると
 思います。私はこの住みなれたところ、家族、友達隣人の居る所に自分の意識があるうちは、迷惑をかけながらも住みたい。心安らかに生きたいと願っています。通いの人達との手仕事、「たまりんば」の集いと変わってきていますが、自分を含めて老いていくのを見つつ、みんなと係っている事が生きる希望になっていると、感じる、このごろです。

遠くの親戚よりも近くの他人とことわざがあるが、家の中では体調がすぐれない時でも虹の家の玄関に入ったとたんに、腰痛、腹痛が落ちつくのは、父、母、兄、姉のような存在感の利用者の方々から、逆パワーを戴いているからだろうか。

いつの日か、この家に厄介になる日も遠くはないでしょう。おはようさん、こんにちわ又あしたねえーと、末永く多くの人達と交流して、心の宝を増やしていきたいです。

「おはようございます」「さようなら」のご利用者さんの笑顔に支えられ、10年後も笑顔で地域の方々に必要とされ、信頼される虹の家であってほしいなーと願っています。それにつけても職員の若さの息吹が感じられ、とてもうれしい限りです。みんなで上手に育てていきましょう！



職員から

～こんな介護をしたい～



まだ介護保険制度がなかった時、寝たきりの祖父を介護した母の姿がこの仕事に就いた原点でした。在宅支援の仕事に携わり色々経験する中で、今は孤軍奮闘しなくてもよい時代になったと実感します。小規模が出来、地域のネットワークも出来て介護する自分も日々進化しなくてはと思います。 日向 直子 (介護歴6年)

食事の時“おいしいねえ”と隣の方とにこやかな会話、入浴の日“極楽極楽と喜ぶあの笑顔、自然で当たり前のような願い、静かな日常が続けられる事、介護という世界に入ってそれがどんなに幸せであるかという事を知りました。もっともっと皆様の笑顔に出会いたい！

森戸 ふみ (介護歴1年)

介護技術や認知症の知識等を身につけるのはもちろんですが、利用者さんの気持ちに寄り添い、いつも隣で笑い合える職員でありたいと願っています。

これからも「向上心」と「遊び心」を忘れずに働きたいと思います。 横山 耕太 (介護歴1年)

仕事をしていて良かったことは、利用者さんの言葉でした。私が出勤の時に「あなたの顔を見れて良かった。」と言ってくれたことです。なかなか利用者さんにお会い出来なくて、久しぶりにお会いした時にそのような言葉をかけられると、この仕事をしていて良かったと思いました。 矢野 明日香 (介護歴1年)